

様式第9号

(表 面)

特別障害者手当認定診断書(視覚障害用)				
① 氏 名 (ふりがな)		男・女	② 生 年 月 日	明治 大正 昭和 平成 年 月 日
③ 住 所			④ 障害の原因と なった傷病名	
⑤ 傷 病 の 原 因 又 は 誘 因	先天性 後天性 (疾病、不慮災、労災、その他)		⑥ 傷 病 発 生 年 月 日	昭和 平成 年 月 日
⑦ ④のためはじめ て医師の診 断を受けた日	昭和 平成 年 月 日		⑧ 将 来 再 認 定 の 要	有 (年後) ・ 無
現 症	⑨ 眼所見(前眼部、中間透光体、眼底所見)			
	⑩ 視 力		裸 眼 視 力	矯 正 視 力
		右 眼		
左 眼				
⑪ 備 考				
上 記 の と お り 診 断 し ま す 。 平成 年 月 日 病院又は診療所の名称 所 在 地 診 療 担 当 科 名 医師氏名				

◎裏面の注意をよく読んでから記入してください。
◎字は楷書ではっきりと書いてください。

印

注意

- 1 この診断書は、特別障害者手当の受給資格を認定するための資料の一つです。
この診断書は、障害者の障害の状態を証明するために使用されますが、記入事項に不明な点がありますと認定が遅くなることがありますので、詳しく記入してください。
- 2 ○・×で答えられる欄は、該当するものを○でかこんでください。記入しきれない場合は、別に紙片をはり付けてそれに記入してください。
- 3 ⑦の欄は、この診断書を作成するための診断日ではなく、障害者が障害の原因となった傷病について初めて医師の診断を受けた日を記入してください。前に他の医師が診断している場合は、障害者本人又はその父母等の申立てによって記入してください。また、それが不明の場合には、その旨を記入してください。
- 4 ⑩の欄は、視力測定の際の照度は、200ルクスとしてください。
- 5 口頭による諸検査結果と他覚所見とが一致しないような場合は、備考欄になるべく詳しく診断結果を付加記入してください。